

資料 2

アッケシソウの人工栽培計画について

【アッケシソウについて】

アッケシソウは、明治24年、発見地に因んで北海道大学宮部金吾博士により名付けられ、「厚岸湖牡蠣島植物群落」の中の一つとして、大正10年に国の天然記念物に指定された。その後、地震や地盤沈下等の自然環境の変化に伴い、牡蠣島は水没し植物群落の回復が見込めないことから平成6年に指定解除となった。その際、当時の文化財審議会からアッケシソウについては町の名が付いた唯一の植物なので、今後とも保護に務めるよう提案があった。

【アッケシソウの厚岸湖岸調査】

- 平成19年 金田崎地区の分布調査
- ～22年 湖岸浸水域が増加し、イネ科やカヤツリグサ科等の他の塩性植物の繁茂によりアッケシソウの生育分布の減少を確認。

※平成26年以後は、隔年で分布確認調査を実施

- 平成26年 ①猫の沢～トキタイ川左岸、②東梅川右岸、③金田崎一金田沢周辺を踏査。
- 平成28年 ①金田崎～金田沢、②東梅川河口（右岸・左岸）を踏査。
- 平成30年 ①金田崎～金田沢周辺、②猫の沢～トキタイ川左岸を踏査。
その際、ドローン撮影を実施した。
- 令和 2年 ①猫の沢～トキタイ川左岸、②金田崎一金田沢周辺を踏査。

⇒ 各年度とも、1年草の生育地点に変化はあるものの、各区域におけるアッケシソウの生育が確認できている。

【アッケシソウ人工栽培の経過】

- 昭和57年 郷土館前庭で人口栽培〔平成6年(1994)FRP枠を設置〕

- 平成 4年 チカラコタン地区に試験栽培地を造成（人口栽培）

- 平成17年 町内港町にアッケシソウ栽培地（20m×20m）を造成。
 （チカラコタン地区及び港町地区の栽培地はいずれも継続した
 育成には至らなかった）

- 平成21年 アッケシソウの自生地である厚岸湖岸金田崎の土壌分析を実施し、
栽培地（港町）において、有効態リン酸および置換性カリウムが生
育不良に関与していることを推定。

- 平成25年 プランターによる試験栽培を実施。（平成30年度まで）
各プランターは、浚渫土・黒土、堆肥投入・堆肥未投入、海水・水
道水・水道水で希釈した液肥など条件を変えて栽培。
生育結果は、土壌及び水質では余り変化が見られず、堆肥の有無や
液肥の有無により生育が大きく左右されることが判明し、密集する
と枝の張りが少なくなるため、適度の間引きが必要であることが推
測された。

- 平成30年 教育委員会職員がアッケシソウ栽培に伴う網走市卯原内現地視察。
網走市卯原内観光協会や東京農業大学（准教授中村隆俊氏）らと
網走市 の保護増殖の取り組みについて意見交換を行う。

- 令和元年 チカラコタン地区で地質や地下水流及び海水の干満等の調査を行い、
～2年 新たな人工栽培地として基本設計を行う。
 （調査は東京農業大学及び専門企業により実施）

- 令和3年 人工栽培地としてチカラコタン地区の造成工事を完了。
（9月28日） 耕地面積（951㎡）／全体面積（1,505㎡）

【アッケシソウの継続的な人工栽培に向けて】

アッケシソウの人工栽培は、過去に場所、規模、生育条件を変えて行ってきた。結果、3年程度は維持できるが、今日まで人工栽培が継続しているのは郷土館前のFRP枠で設置した部分のみとなっている。

このため、潮の満ち引きで、定期的に冠水させ、自生地に近い環境を人工的に整える必要がある。

＜考察＞

- アッケシソウの生育条件を妨げる大きな原因
 - ・雑草の繁殖
 - ・土壌の酸性化
- 上記生育条件を妨げる要因となるもの
 - ・職員が管理できる規模は郷土館前の規模が限界
 - ・海水の散布不足
 - ・土壌の耕耘を毎年継続できない
- アッケシソウの生育条件を満たすための条件
 - ・海水が潮の満ち引きで自然に流出入する環境を整える
 - ・毎年、土壌の耕耘を行う

【今後の計画】

- 令和4年度
- ・人工栽培区画にアッケシソウの播種（4～5月）
 - ・防鹿柵設置
 - ・栽培地案内看板設置

令和4年度以降毎年継続（業者委託含む）

<モニタリング調査>

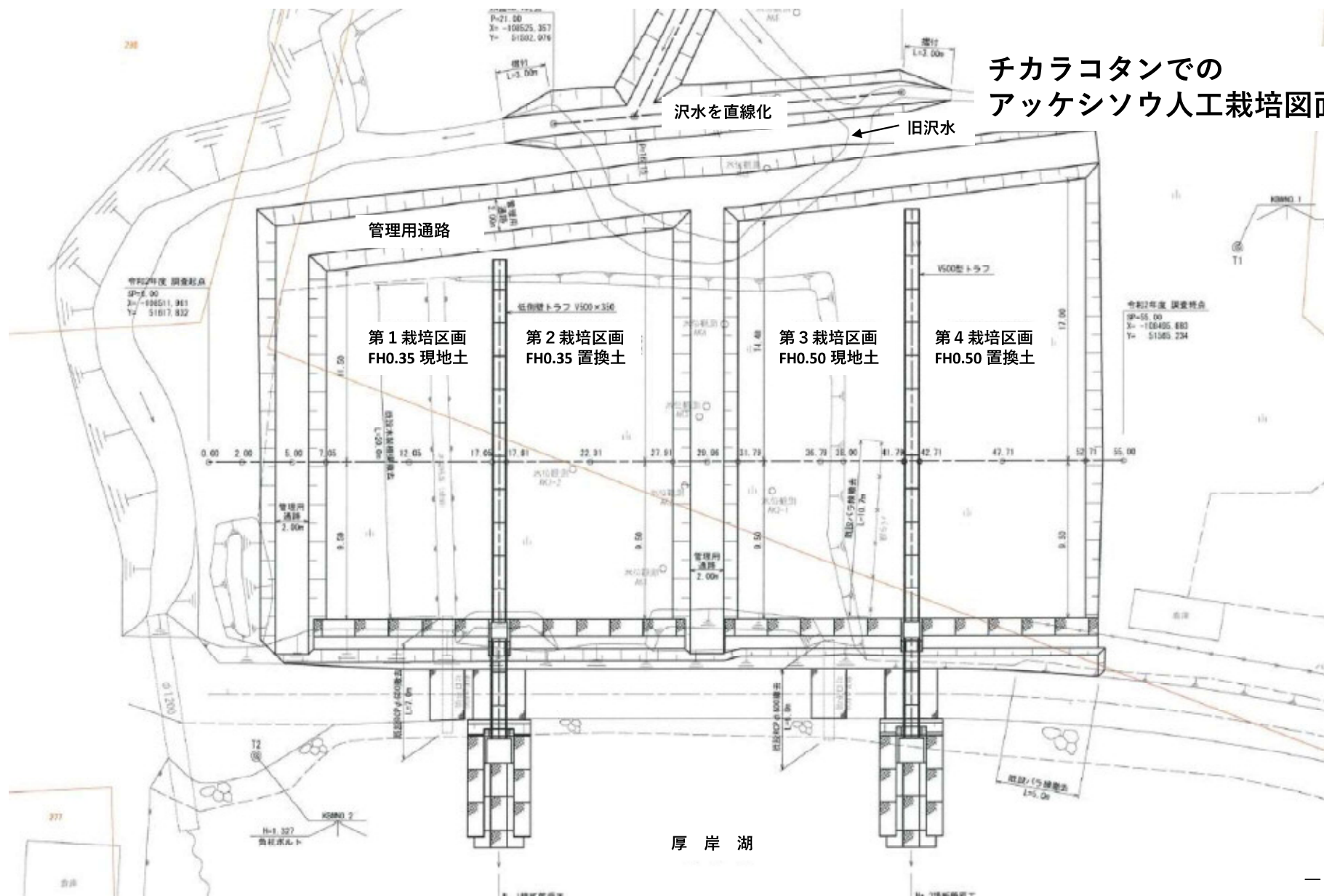
- ・育成観察（適時）
- ・水位、潮位計測
- ・土壌成分計測（土壌ph、土壌塩分）
- ・専門家（東京農大等）とのヒアリング

<造成地管理>

- ・水路の維持（海水流出入口の定期的な点検）
 - ＊藻が溜まっていれば取り除く
- ・各区画の耕耘作業（播種前に年1回）
- ・草刈り（年2回程度）

令和7年度以降

- ・4区画の中からアッケシソウに生育に最適な環境を見出し、4区画全てを同一環境に統一する。
- ・チカラコタン地区以外の適地を模索し、人工栽培の拡大を図る



チカラコタンでの
アッケシソウ人工栽培図面



厚岸湖岸のアヶシソウ自生地分布図

金田崎

トキタイ川

猫の沢

東梅

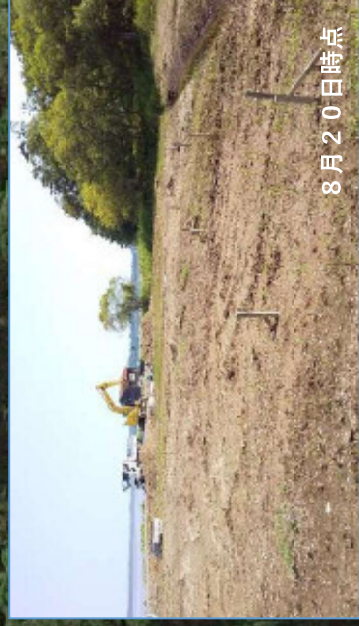
チカラコタン

人工栽培地

Google

チカラコタンでの
アッケシソウ人工栽培区画

厚岸湖



着 工 前

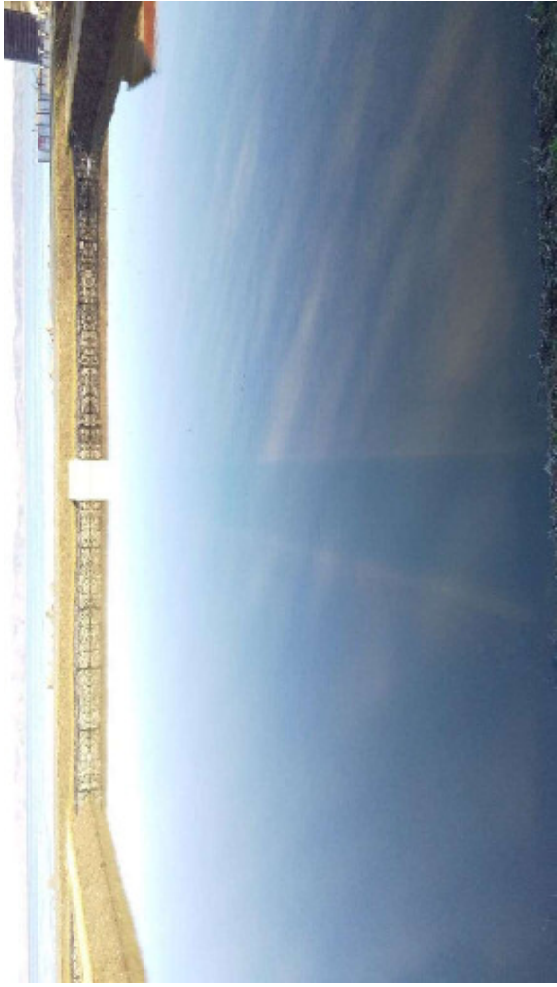
撮影年月日 令和 3年6月25日



完 成

撮影年月日 令和 3年9月28日





図面左側 (FH0.35) : 第1・第2栽培区画



図面右側 (FH0.50) : 第3・第4栽培区画 (左側 : 山砂 / 右側 : 現地土)



図面左側、第1・第2栽培区画から山側に向かって撮影